

豊田市長 太田 稔彦 様

# 若林地域会議 提言書



令和5年6月30日

## 若林地域会議【20名】

会 長 前田 忠雄

副会長 関森 俊幸

委 員 芦澤 正博

猪塚 健人

伊藤 篤勇

岩瀬 健治

小野田 しづ江

古藤 知子

榊原 大助

柴田 勝久

鈴木 光久

都築 和彦

都築 唯浩

永田 則俊

中野 麻子

濱田 勲

原田 好則

山下 信元

芳形 志保

若杉 眞希

## 若林地域の概要

若林地域は、豊田市南部に位置し4つの自治区で構成され、行事も盛んな活気のある地域である。

若林自治区は世帯数4,000世帯超で市内2番目の自治区であり、コミュニティ活動や地域会議は若林が中心となっている。

高美町自治区は昭和45年に発足し、高美町桜並木は豊田市南部の最良の景勝地として知られている。

外根自治区は昭和43年に建てられた愛知県営住宅の自治会が母体で昭和47年に若林自治区から分離独立し自治区として発足した。

若林宿舍自治区は旧雇用促進事業団アパート（平成29年から民間アパート）で昭和41年に自治区として発足した。

今後は区画整理事業、名鉄三河線高架化・複線化、都市計画道路整備事業など、生活環境が大きく変化していく地域である。

## 1 理想の姿（若林まちづくりビジョンより）

若林地域の将来像（目指す姿）「暮らし続けたいまち・わかばやし」を実現するために、

- (1) 安心して暮らせるまち
- (2) 元気に暮らせるまち
- (3) みんなが暮らしたくなるまち

の3つの大きなポイントを定めました。

## 2 地域の現状・課題の選定（解決したい地域課題）

解決したい課題については大きく5つある。

- (1) 住民同士の関係が希薄化
- (2) 地域行事・活動の参加者の固定化及び減少
- (3) 地域の防災組織体制の不安
- (4) 防災意識（自助・共助）の低下
- (5) 自治区間の防災意識の差

### 3 解決方針

そこで5つの課題を解決するための解決方針として、

**「多世代交流」×「防災」による機会づくり**  
を考える。

そのために

- (1) 地域を支える人づくり
  - (2) 防災に強い基盤づくり
  - (3) 若林地域防災訓練の実施
- の3つを課題解決の柱にする。

### 4 具体的な事業アイデア

	地域	協働	行政
(1) 地域を支える 人づくり	【自治区】 防災士等資格取得及び資格 取得者(人材)の各地域防災 体制への活用 (自主防災組織への加入等) 【学校】 中学生の防災組織・活動への 参加	【自治区・行政】 他地域への視察	・防災士等資格講習会の 市内開催 ・防災士等資格取得費用 の補助 ・リーダー研修の実施
(2) 防災に強い 基盤づくり	【自治区】 防災グッズ及び防災対策講習 会の宣伝(イベントでの周知 等)	【自治区・行政】 防災啓発物品の作成	・防災グッズ取得費用の補 助及び活用方法(基準)の 見直し ・防災対策講習会の開催
(3)① 身近な単位の 防災訓練	【自治区→区会議員→組長 →組員(世帯)】 周知活動・訓練の実施	【自治区⇔行政】 訓練内容・方法の協議	・参加者への配布用防災 物品の用意
(3)② 親子参加型 イベント	【自治区・こども園学校 コミュニティ会議等】 情報発信	【実行体制(主体)】 イベント内容(避難所経路ス タンプラリー等)の企画 情報発信(広告制作)・実 施・運営	・必要な物品やシステムの 用意
(3)③ 若林地域 防災訓練	【区長会・コミュ会等】 参加者の調整・準備 (メンバー選出・依頼)	【実行体制(主体)】 イベント(防災キャンプ等)内 容の企画 情報発信(広告制作)・実施・ 運営	・情報提供(他実施例等) ・訓練用物品の準備 ・地域担当職員の参加

令和5年度 提言 のイメージ図

①理想の姿

【安心して暮らせるまち】  
安全・安心なまちづくり

(1)防災の充実



【元気に暮らせるまち】  
活気あふれるまちづくり

(2)新たなイベント等の創出

②地域の現状・課題の選定

住民同士の関係が希薄化

例)隣三軒両隣や、地域内の関係がない

地域行事・活動の参加者の減少

例)交流機会がなく、新たな関係が構築されない

実施・参加者の固定化

例)自治区の役員(区会議員・評議員以上)ばかりで  
組長以下(組長・組員・世帯)の参加が少ない

防災意識(自助・共助)の低下

例)多くの住民が災害への備えが不十分

地域の防災組織体制の不安

例)有事の際に、地域の防災組織及び人員が動けるか

③解決方針

『多世代交流』×『防災』による機会創出

④具体的なアイデア

これまでの  
各グループ  
ワークより

ヒト



防災士の講習・資格取得補助

Cグループ

モノ



防災ラジオ普及促進・地域活用

Bグループ

コト

自助

家庭防災(自助)のチェック  
避難所・自治区  
交番・交流館 等

親子で参加

親子向け若林スタンプラリー

Aグループ

共助

避難誘導(訓練) 安否確認(訓練)

組長→組員(世帯)  
組単位の防災訓練

参加者に  
抽選券  
防災食  
の配布

A・Bグループ

オール若林防災訓練 (仮)若林防災キャンプ

防災意識を向上させる仕掛け	地域住民同士が交流する仕掛け	人を呼ぶ仕掛け
避難生活体験	「高齢者クラブ・長寿会」 →「こども会(親子)」 火起こし飯盒炊飯	CREPE キッチンカー
備蓄品クイズ	参加者で即席チーム編成! 地域別バケツリレー競争	キャンプ用品 大抽選会
初期消火訓練	応急救護指導	餅投げ

A・B・C・Dグループ

C・Dグループ